

2025 年 4 月 大学院商学研究科 修士課程入学試験問題 専門科目

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、問題用紙および解答用紙に触れないこと。
2. 問題用紙および解答用紙はそれぞれ別の用紙になっている。
3. 9 題のうち 2 題を選択すること。
4. 少なくとも 1 題は、自分の志望する研究指導の分野に最も近いと判断される問題を選択すること。
5. 専門科目の答案は二次試験の参考資料とするので、それを踏まえて問題を選択すること。
6. **試験開始の合図後**、解答用紙左上の指定された□内に選択した問題番号を、所定の欄に受験番号、氏名を次の数字記入例にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。また、所定の欄以外に受験番号および氏名を記入しないこと。

【数字記入例】

正	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
誤	C	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
					↑			7		9

7. 解答は、黒色または青色のインクのペンまたはボールペンを使用し、すべて解答用紙の所定の欄に**最大 1000 字程度**（グラフまたは図を用いる場合の文字数は含めない）で書くこと。消しゴムで文字を消すことができるインクのペンまたはボールペンは使用しないこと。鉛筆書きは不可。
8. 解答用紙の裏面に記入してはならない。
9. 修正液または修正テープの使用は認める。
10. 筆記用具、修正液および修正テープは貸与しない。
11. 問題用紙および解答用紙は原則として取り替えない。
12. 解答は必ず 1 問につき 1 枚の解答用紙を使用すること

以 上

2025 年 4 月 大学院商学研究科
修士課程入学試験問題 専門科目

〔設問 1〕 経営専修 経営領域

以下のすべての問いに答えよ。

1. マイケル・ポーターの定義する基本戦略(generic strategies)において、コストリーダーシップ戦略と差別化戦略の両者を説明した上で、企業がその両者を同時に追求することが一般的には難しいとされる理由を説明せよ。
2. 企業が異なる製品事業を営むことを製品多角化というが、企業の株主と経営者は、一般的に、異なる製品多角化の程度を選好しうる。その理由について、経営者が直面するリスクの観点から説明せよ。
3. 従業員が抱く経営者に対する信頼は企業の持続的競争優位の源泉となるであろうか。信頼を定義した上で、その理由を説明せよ。

〔設問 2〕 マーケティング・国際ビジネス専修 マーケティング領域

以下の質問にすべて答えてください。

最近のマーケティングにおいて、将来性が高いと考えられ注目を集めているものにリテールメディア、リテールメディア広告があります。

1. リテールメディアとはどのような主体がどのように運用しているものなのかを詳しく説明してください。
2. リテールメディアは日本でどのように活用されているか、具体例を示して説明してください。
3. マーケティング活動における個人情報保護とリテールメディアの関係を説明してください。

[設問3] マーケティング・国際ビジネス専修 国際ビジネス領域

以下のすべての問に答えてください。

以下の国際貿易に関する設問2つについてそれぞれ300字以上で説明しなさい。

- (1) 比較優位と絶対優位の違いをリカードモデルの文脈で、「労働投入係数」、「〇〇費用」などの言葉を用いて説明しなさい。
- (2) ヘクシャー・オリーンのモデルと特殊要素モデルで、どちらが短期でどちらが長期のモデルになるのかを、経済学的な理由も含めて説明しなさい。

ヘクシャー・オリーンの貿易モデルの総合問題

これは、ヘクシャー・オリーンのモデルで、固定係数を用いた生産技術の（レオンティエフ型の生産関数を考えよ）特殊ケースについての問題である。1単位の財Xの生産には1単位の労働と3単位の資本を同時に使い、1単位の財Yの生産には2単位の労働と2単位の資本を同時に使うものとする。この経済の労働の賦存量は100単位で、資本の賦存量は120単位とする。（グラフを描くときにはきちんと横軸と縦軸にラベルをつけなさい。XとYの生産量は小文字のx、yを用いなさい。）

- (3) 財Xと財Yとではどちらが労働集約的な技術を用いて生産が行われるか？その理由も書け。
- (4) この経済において各財の生産を制約する資本と労働の雇用制約条件の不等式を書け。まずは、 K_X や K_Y などの記号を使ったものを一度書きなさい。次に、最適な生産活動を行った場合（ヒント：input requirement functionsを考えなさい）の労働と資本の使用量を考慮して、ちゃんと K_X や K_Y なども必要な形に書き直してPPFを導出するための式を書け。
- (5) このモデルのPPFのグラフを描け。どの部分がPPFなのかを明確に示せ。需要がとくにどちらの財にも偏っていないときの消費点はx、yそれぞれ何単位消費されるかを計算せよ。
- (6) 国内均衡価格 $P = P_X / P_Y$ はどのような範囲に決まるか？不等号で示せ。
- (7) 資本の賦存量が直接投資によって（もとの120単位から）150単位まで増えたときにPPFはどのように変化するか？図を用いて説明せよ。
- (8) また、このような変化はヘクシャー・オリーンの四大定理のうちのどの定理についての記述をあらわすのか？定理の名前と意味・内容も書け。
- (9) 財Xの価格が5ドルで財Yの価格が6ドルであったとしたら、競争均衡の結果、価格と生産費用が等しくなる状況の式を書いて、それをグラフでも示せ。（横軸をrとする）このグラフの名前は何であるか？
- (10) 上の問題の続きで、財Xの価格が5ドル、財Yの価格が6ドルのときの国内均衡要素価格（資本レント代と労働賃金）を決定せよ。

- (1 1) 今度は、財 X の価格が\$5 から\$6 に上昇 (+20%) したときの新たな国内均衡要素価格を計算せよ。どちらの生産要素のリターンが増えたか？増え方は財の価格の増加率である 20% よりも大きいのか、それとも小さいか？
- (1 2) また、この (1 1) での結果は、固定係数の特殊ケースにおけるヘクシャー・オリーンの四大定理のうちのどの定理についての記述をあらわすのか？定理の名前と定理の中身の説明を書け。

[設問 4] 金融・保険専修 金融領域

3人の投資家、投資家1、投資家2、投資家3は、それぞれ次のような効用関数 $u(x)$ をもっている (x は投資から得られる収益)。

投資家1: $u(x) = x$

投資家2: $u(x) = -0.01x^2 + 2x$

投資家3: $u(x) = x^2$

株式市場では、3つの株式、株式 A、株式 B、株式 C を取引できる。それぞれの株式から投資家が将来に得る収益は、将来が好況になるか不況になるかに依存し、次のようになる。

株式 A: 好況の時 100、不況の時 0

株式 B: 好況の時 30、不況の時 60

株式 C: 好況の時 80、不況の時 0

なお、将来好況になる確率は 50%、将来不況になる確率も 50% とする。また、株式 A、株式 B、株式 C を現時点で購入するための株価は (簡単化のため) いずれも 0 とする。

このとき、次の全ての問題に答えなさい (答えに小数点以下の数字が含まれるときには、小数第二位を四捨五入して小数第一位までを求めなさい)。

[問題1-1] 投資家1が、現時点で株式 A を購入したときの期待効用、株式 B を購入したときの期待効用、株式 C を購入したときの期待効用を求めよ。投資家1が期待効用が大きな株式

を好むとすると、投資家1にとって、株式 A、株式 B、株式 C の好みの序列はどうなるか(3つの株式のうちどの株式を最も好み、どの株式を2番目に好み、どの株式を3番目に好むか)。

[問題1-2] 投資家2が、現時点で株式 A を購入したときの期待効用、株式 B を購入したときの期待効用、株式 C を購入したときの期待効用を求めよ。投資家2が期待効用が大きな株式を好むとすると、投資家2にとって、株式 A、株式 B、株式 C の好みの序列はどうなるか(3つの株式のうちどの株式を最も好み、どの株式を2番目に好み、どの株式を3番目に好むか)。

[問題1-3] 投資家3が、現時点で株式 A を購入したときの期待効用、株式 B を購入したときの期待効用、株式 C を購入したときの期待効用を求めよ。投資家3が期待効用が大きな株式を好むとすると、投資家3にとって、株式 A、株式 B、株式 C の好みの序列はどうなるか(3つの株式のうちどの株式を最も好み、どの株式を2番目に好み、どの株式を3番目に好むか)。

[問題2] 投資家1、投資家2、投資家3は、それぞれ、リスク回避的な投資家、リスク中立的な投資家、リスク愛好的な投資家、のどれにあたるか。

[問題3-1] 投資家1が株式 A、株式 B、株式 C でポートフォリオを組むことを考える。投資家1の期待効用を最大にするポートフォリオを組むには、株式 A を何%、株式 B を何%、株式 C を何%保有するべきか。そして、なぜそのポートフォリオが投資家1の期待効用を最大にするのかを直感的に述べよ。

[問題3-2] 投資家2が株式 A、株式 B、株式 C でポートフォリオを組むことを考える。投資家2の期待効用を最大にするポートフォリオを組むには、株式 A を何%、株式 B を何%、株式 C を何%保有するべきか。そして、なぜそのポートフォリオが投資家2の期待効用を最大にするのかを直感的に述べよ。

[問題3-3] 投資家3が株式 A、株式 B、株式 C でポートフォリオを組むことを考える。投資家3の期待効用を最大にするポートフォリオを組むには、株式 A を何%、株式 B を何%、株式 C を何%保有するべきか。そして、なぜそのポートフォリオが投資家3の期待効用を最大にするのかを直感的に述べよ。

[問題4] 現実の株式市場では、しばしば「投資家は買った時の価格より高くなった株式を売って利益の確定を急ぎ、逆に買ったときの価格より安くなった株式は売らない(損切りをしない)傾向がある」と言われる。この投資家の行動は、投資家1、投資家2、投資家3のどの投資家で見られると考えられるか(あるいは、もしこの3人のいずれの投資家にも見られないとすれば、どのような効用関数をもつ投資家でこのような行動が見られると考えられるか)。その理由も述べよ。

[設問 5] 金融・保険専修 保険領域

以下のすべての設問に答えなさい。

1. 保険は伝統的なリスクマネジメント手段として使われてきた。しかし、その限界も認識されている。
 - (1) リスクの種類の観点からの保険の限界について述べなさい。
 - (2) 保険制度の仕組み(被保険利益)としての保険の限界を述べなさい。
2. 保険制度は高齢化社会への有効な対応手段として期待されている。
 - (1) 年金制度の有効性とその限界(未受給)への対応について述べなさい。
 - (2) 公的介護保険制度の有効性と民間の介護保険の関係について述べなさい。

〔設問6〕 会計専修 財務会計領域

問1と問2の両方の間に答えなさい。採点上、問1と問2には同じウェイトがおかれる。

問1. 財務会計やディスクロージャーの役割について次の問いに答えなさい。

2008年4月以降、金融商品取引法上の「四半期報告書」制度が施行され、2024年4月以降は同制度が廃止されるに至った。その経緯や意義について、財務会計学上の専門用語やキーワードを用いて簡潔に説明しなさい。

問2. 資本会計について次の問いに答えなさい。

- (1) 資本充実・維持の原則等をベースに株式会社制度の中心に据えられてきた「資本制度」について簡潔に説明しなさい。
- (2) 近時、頻繁に使用される財務指標としてROEやPBRが挙げられる。これらを定義したうえで、これらの指標の開示や改善が高頻度で求められる市場環境において起こりうる(或いは現実に観察されている)企業の資本政策・経営行動について考えるところを述べなさい。

〔設問 7〕 会計専修 管理会計領域

ある工場で、製品 W の今月の実際生産量は 10 単位であった。製造原価の実際発生額に関連するデータは、以下のとおりであった。

直接材料費 実際消費単価 \$11/kg

実際消費量 19kg

直接労務費 実際賃率 \$6/時間

実際直接作業時間 18 時間

製造間接費 実際発生額 \$250

この工場では、直接材料費の予定消費単価を\$10/kg に、直接労務費の予定賃率を\$5/時間に設定している。また、製造間接費については、公式法による変動予算を設定し、直接作業時間を配賦基準として予定配賦を行っている。

各問のすべてについて、注 1 から注 4 までの指示にしたがい、解答しなさい。

注 1 解答は、問の番号の順にしたがって記述すること。

注 2 問 1 から問 9 は、計算の過程を示してから解答の金額を記述すること。

注 3 問 2、問 4、問 7、問 8、問 9 は、差異が発生する場合、符号ではなく、有利差異であるか不利差異であるかを示すこと。

注 4 解答は、それぞれ問の番号を明記したあとに記述すること。

問 1 予定価格を用いて直接材料費を計算しなさい。

問 2 直接材料費の材料消費価格差異を計算しなさい。

問 3 予定賃率を用いて直接労務費を計算しなさい。

問 4 直接労務費の賃率差異を計算しなさい。

- 問 5 年間製造間接費予算に関連するデータは、変動費率 \$7/時間、固定費額 \$1,200、予定作業時間(基準操業度) 300 時間、である。製造間接費予定配賦率を計算しなさい。
- 問 6 製造間接費予定配賦額を計算しなさい。
- 問 7 製造間接費配賦差異総額を計算しなさい。
- 問 8 予算差異を計算しなさい。
- 問 9 操業度差異を計算しなさい。なお、月間基準操業度は年間基準操業度の 1/12 とし、製造間接費予算の月間の固定費額は年間の固定費額の 1/12 とする。
- 問 10 製造間接費の配賦基準で価額基準を用いるときの、具体的な配賦基準の例を 2 つあげ、価額基準を用いる場合のメリットとデメリットを説明しなさい。
- 問 11 材料費の計算で予定価格を、労務費の計算で予定賃率を、製造間接費の計算で予定配賦率を用いる理由について、2 点説明しなさい。
- 問 12 材料費の計算で予定価格を、労務費の計算で予定賃率を、製造間接費の計算で予定配賦率を用いた実際原価計算と、標準原価計算との違いについて説明しなさい。

[設問 8] 理論・計量専修／公共政策・経済史専修 ミクロ経済学領域

以下の問のすべてに答えよ。

1. ある家計が資産を 25 保有している。この資産の価値は将来、50%の確率で 10 となる一方 50%の確率で 40 となる。また、この家計の効用関数は $u = \sqrt{x}$ であらわされるとする。ここで u は効用、 x は保有資産の価値である。この時、次の間に答えよ。

1) 現在および将来の期待効用はそれぞれいくらになるか。その際に、期待効用、リスク愛好的、リスク回避的について簡単に説明すること。なお、将来の資産も割引は行わないとする。

2) 将来の資産の確実価値等価およびこの家計が支払う用意のあるリスクプレミアムはいくらになるか。その際に、確実価値等価およびリスクプレミアムについて簡単に説明すること。説明に際してグラフも用いること。

2. 消費者が二人だけ存在するような市場を考える。消費者 A、B の需要曲線はそれぞれ以下のようにあらわすことができる。なお X_a 、 X_b は A、B の需要、 p は価格、 a 、 b は定数である。この時、次の間に答えよ。

$$X_a = p^{-a}$$

$$X_b = p^{-b}$$

1) 消費者 A の需要の価格弾力性を計算せよ。

2) 市場全体の需要曲線および市場全体の需要の価格弾力性を計算せよ。

3. コースの定理とは何かを説明した上で、コースの定理が成立する場合には、公害対策としてどのような政策が望ましいのかについて議論せよ。その際に、コースの定理が成立するためにはどのような条件が必要なのかについても述べること。

〔設問9〕 理論・計量専修／公共政策・経済史専修 マクロ経済学領域

以下の問のすべてに答えよ。

1. 貨幣需要は何かについて簡単に説明したのちに、貨幣需要の決定要因について説明せよ。その際に交換方程式および貨幣数量説について説明すること。
2. インフレーション及びデフレーションの社会的なコストについて議論せよ。
3. フィリップス曲線および物価版フィリップス曲線とは何かについてグラフ及び式を用いて簡単に説明せよ。その際に自然失業率についても簡単に説明すること。

—以上—



受 験 番 号	
氏 名	

[illegible]



受験番号	
氏名	

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

100